

# 2019年度の目標と実績

住友ゴムグループは、より良い社会の構築に向けた企業の社会的責任を果たすことを通じ、社会から信用される企業グループとなることを目指しています。

当社グループ行動指針としてCSRガイドラインを掲げ、行動指針GENKI(元気)活動に沿ったこの活動を「Green」「Ecology」「Next」「Kindness」「Integrity」に分類し、積極的に推進しています。

当社グループのCSRガイドライン「GENKI」に基づき、成果を検証し、2020年度の目標を策定しています。ここでは、主要項目を抜粋し紹介しています。



〔○〕マークの項目は、第三者検証の対象データです。(原単位は除く)「2019年度の活動と2020年度の目標」詳細は、ホームページに掲載します。(2020年6月末 公開予定)

CSR活動ガイドライン	Plan 2019年度目標	GRガイドライン	Do 2019年度活動実績	Check 自己評価 <sup>※1</sup>	Action 2020年度目標	
Green Green initiative 緑化	1 森づくりを通じた地球温暖化防止への貢献	304-3	●100万本の郷土の森づくりプロジェクト推進 ●国内GENKIの森の整備活動	100%	●100万本の郷土の森づくりプロジェクト推進 ●国内GENKIの森の整備推進	
	2 森づくりを通じた地域との交流	413-1	●どんぐりプロジェクトの推進 ●苗提供も含めた地域との交流を広げる	100%	●植樹・森の整備、苗木提供を通じた地域との交流と貢献を継続	
	3 生物多様性の保全	304-3	●絶滅危惧種の保全・育成の継続、特に岡山テストコースのオオムラサキ育成を軌道に乗せる	70%	●絶滅危惧種等21種の保全を継続 ●岡山テストコースでオオムラサキの羽化成功	
Ecology Ecological process 事業活動の環境負荷低減	4 低炭素社会の構築	302-3	●グローバルのタイヤ1本当たりのライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出量2005年比12.5%以上削減(国内6工場) ●原油換算エネルギー使用量原単位 <sup>※3</sup> 前年度比1.2%以上削減	100%	●前年度比1.0%以上削減	
	5 循環型社会の形成	305-4	●CO <sub>2</sub> 排出量原単位 <sup>※3</sup> 前年度比1.4%以上削減(国内6工場)○	100%	●前年度比1.0%以上削減	
		306-2	●有価物を除く廃棄物排出量原単位 <sup>※3</sup> 前年度比0.7%以上削減(国内6工場)○	99%	●前年度比0.5%以上削減	
	6 環境負荷物質管理の推進	303-1	●水使用量原単位 <sup>※3</sup> 前年度比1.9%以上削減(国内6工場)○	100%	●前年度比1.0%以上削減	
		305-7	●(NOx+SOx+ばいじん)量 2005年度比80%以上削減	82.3%削減	100%	●2005年度比80%以上削減
	7 グローバル環境経営の推進	103-2	●ISO14001グローバル統合認証の維持・継続	維持・継続	100%	●グローバル統合認証の維持・継続
	Next Next-generation product development 次世代型技術・製品の開発	8 環境配慮商品の開発	302-5	●「SMART TYRE CONCEPT」の主要技術を採用した「エナセーブNEXTⅢ」の開発・販売	100%	●環境配慮商品の開発・販売
9 「安全・快適」「経済性」「品質」の追求		416-1	●オールシーズンタイヤ「DUNLOP ALL SEASON MAXX AS1」の発売	100%	●新技術の商品化	
Kindness Kindness to employees 人にやさしい諸施策	10 人材育成と働きがいの向上	404-2	●グローバル人材育成のため、2019年下期よりグローバル人材育成研修の実施を計画 ●働き方改革推進プロジェクトとして各活動を活性化させる①啓蒙啓発/相互理解、②コンペイトー★(コンペイトー)活動、③グローバル化、④人事制度の4つの分科会でそれぞれの課題解決を実施	70%	●役員を含めた管理職以上に対して、多面評価とリーダーシップ研修を実施。お互いにフィードバックしあう文化をさらに醸成し、自由闊達な意見交換ができる職場を作り上げる	
	11 安全で働きやすい職場づくり	404-2	●職場の安全を向上させるため、各拠点の安全活動を評価する安全指標(KPI)を活用し、弱みの把握を行い改善活動を推進	80%	●役員を含めた管理職以上でアンコンシャスバイアス講習会を実施し、ダイバーシティを阻害する要因である「無意識の偏見・思い込み」を極力排除できるように努める	
		403-2	●健康経営宣言の実践活動の推進(健康意識の向上による健康維持増進、疾病予防、メンタルヘルス対策の徹底)	90%	●疾病休業日数の削減に加えて「楽しく運動をして健康な身体づくり」を柱に各自が生活習慣の改善に取り組み健康経営宣言を実践	
	12 ワークライフバランスの推進	403-2	●男性社員の育児休業利用促進 ●育児短時間勤務利用促進 ●託児サポート制度の運用	80%	●男性社員の育児休業利用促進 ●育児短時間勤務利用促進 ●制度の利用促進	
	13 ダイバーシティの推進	401-3	●女性社員・障がい者の継続的な採用 ●性別等を問わず、有能な人材の継続的活用	100%	●個々の多様性を活かした働き方を支援	
	14 人権の尊重	405-1	●人権に関する研修の実施	80%	●人権に関する研修の実施	
	Integrity Integrity for stakeholders ステークホルダーへの誠実さ	15 社会貢献活動の推進	412-2	●CSR基金加入率:約43% ●小学生対象のものづくり教室:6校にて開催 ●環境教室:4団体で7回実施	80%	●人権に関する研修の実施
16 コーポレート・ガバナンスの充実		102-44	●CSR基金加入率:約43% ●小学生対象のものづくり教室:6校にて開催 ●環境教室:4団体で7回実施	100%	●CSR基金加入促進 ●NPOとの協業推進(活動継続と拡大)	
17 コンプライアンスの徹底		102-18	●決裁規定改定、取締役会実効性評価による効果・課題確認、政策保有株式縮減、等実施 ●より実践的なBCP訓練の実施、子会社でのBCP策定、BCP訓練実施の推進 ●グループ全体の重要リスクへの対策を継続、リスクを再分析しグループ全体の重要リスクを最新化	100%	●コーポレート・ガバナンスの実効性のさらなる向上 ●BCPの内容整備・拡充と訓練の実施継続 ●最新化された重要リスクへの対策実施	
18 ステークホルダーとの対話促進		102-16	●海外を含むグループ会社でのコンプライアンス活動体制整備 ●海外を含むグループ会社で各種説明会を実施、特に海外関係会社での贈賄防止・競争法遵守・不正防止・法務リスク研修実施	100%	●海外関係会社の法務監査充実 ●階層別コンプライアンス研修、専門別研修として企業行動基準、競争法、下請法、景表法、外為法、贈賄防止等の研修実施	
19 サプライチェーンマネジメント		102-44	●さまざまなステークホルダーとの対話促進	100%	●さまざまなステークホルダーとの対話促進	
	102-43	●調達ガイドライン第6版を発行し、サプライチェーンでのCSRを推進	100%	●CSRアンケートとCSR説明会を実施		

※1 自己評価の計算方法: 基準年比(1-削減率)を用いて次の通り計算しています。

$$\left(1 - \frac{\text{目標基準年比} - \text{実績基準年比}}{\text{目標基準年比}}\right) \times 100\%$$

※2 植樹以外に苗木提供を2019年に12,557本実施(累計90,896本)

※3 原単位の分母は、新ゴム消費量(天然ゴム+合成ゴムの消費量)です。2020年目標は製品重量。